

情報コーナー

東福寺美術館

しばやまぞうがん
～芝山象嵌～

☆芝山象嵌の作品
(1) 銀製の花器

芝山象嵌は、江戸時代の安永(1772～1781)のころ、現在の千葉県芝山町の大野木仙蔵(専蔵)が象嵌技法を創案したものです。評判を呼んだことから江戸(現在の東京)に出て、芝山仙蔵(専蔵)と称して作品を作りました。明治時代には、横浜港からの輸出品として盛行しました。象嵌とは、サンゴ、ベッコウ、アオ貝などを嵌入(はめこむこと)して模様を表す技法のことです。特に芝山象嵌は、一般の象嵌漆器と違い、漆面に嵌めこんだ文様でレリーフ状に浮き出しています。そのことから、この部分の細工のみを芝山と呼ぶことがあります。

この作品は、銀製の瓜型の花器で、台も大きく、首が長く、口が大きく外に開いています。四方に四季の花鳥の文様で、周辺は菊花を図案化したものです。イギリス国から帰ってきたものと伝えられています。



芝山象嵌 花器
(高さ 25 cm 銅巾 10 cm)

(2) 長瓜盆

四隅が内側にくぼんでいる長方形の瓜形の盆です。全体に金の高時絵が施され、底面は山水の高時絵に芝山象嵌の梅の木と水仙に2羽の雁がレリーフ状に浮き出しています。

ぜひ、東福寺美術館にお越しください。



芝山象嵌 長瓜盆 (縦 22.5 cm 横 30.5 cm)

〒 779-4109 美馬郡つるぎ町貞光字木屋 341
☎ 0883-62-2207 (東福寺美術館)

大塚国際美術館

世界の名画に出会える美術館 第1弾
～春は大塚国際美術館へ～

大塚国際美術館は、世界26カ国190余の美術館が所蔵する作品を陶板で原寸大に再現した陶板名画美術館で、日本に居ながらにして世界各国の美術館が体験できます。



2021年度は「世界の名画に出会える美術館」を通年のテーマとして、ヨーロッパやアメリカの美術館を旅しながら楽しむ名画・食・イベントを展開します。

やわらかな春風に心華やぐ季節、その第1弾は、4月1日から5月30日まで「花」をキーワードに花の都イタリア・フィレンツェ、フランス・パリの美術館をクロズアップし、楽しみ方をご提案します。期間中は、スタッフと一緒に名画をめぐる「もっと知りたい!アートツアー「名画でめぐる世界の街花の都フィレンツェ・パリの至宝」(毎週土日)をはじめ、好評の撮影 スポットフラワーアートウォールがバージョンアップ!館内のレストランでは、期間限定メニューがお楽しみいただけます。

たくさんの名画に出会える広々とした美術館で、世界旅行を体験されてはいかがでしょう。ポッティチエリ「春(プリマヴェーラ)」



ポッティチエリ
「春(プリマヴェーラ)」

〒 772-0053 鳴門市鳴門町土佐泊浦字福地 65-1
☎ 088-687-3737 (大塚国際美術館)

各館(園)の展示や催し物などについては、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止または変更になる場合がありますので、記載の電話番号やホームページ等でお確かめください。

「情報コーナー」〈目次〉

- 徳島県立阿波十郎兵衛屋敷・・・2
- 川口ダム自然エネルギーミュージアム
・・・2
- 海陽町立博物館・・・3
- 大鳴門橋架橋記念館・・・3
- 阿波木偶人形会館・・・3
- 東福寺美術館・・・4
- 大塚国際美術館・・・4

徳島県博物館協議会ニュース No.66
令和3年4月1日発行
編集・発行者
〒 770-8070
徳島市八万町向寺山 徳島県立博物館内
徳島県博物館協議会事務局
TEL. 088-668-3636 FAX. 088-668-7197

徳島県博物館協議会

4月 2021
NO. 66
ニュース

徳島県博物館協議会は、徳島県内の博物館施設が相互協力して博物館活動の振興をはかるため、平成8年2月27日に設立されました。現在は48館で組織しています。

各加盟館の情報は、WEB上では「徳島県博物館マップ」からご覧になれます。

<https://museum.tokushima-ec.ed.jp>



活動報告

徳島県立鳥居龍蔵記念博物館

鳥居龍蔵記念 徳島歴史文化フォーラム

(徳島県博物館協議会後援)

徳島県立鳥居龍蔵記念博物館(以下「当館」)では、徳島県立博物館とともに、徳島が生んだ世界的な人類学者で、地域研究に一生を捧げた鳥居龍蔵の業績を記念し、中高生による地域の歴史・文化に関する自主的な研究の支援に取り組んでいます。その一つとして、研究の成果を発表しあう徳島歴史文化フォーラムを毎年開催しています。

5回目となる今回は、2月21日(日)に文化の森イベントホールで開催し、中学生の部3組、高校生の部5組の計8組が研究発表を行いました。コロナ禍で活動が制限される中、どの組も工夫しながら調査や研究を行っており、その成果に基づく発表は大変素晴らしいものでした。石器、地域の神社、アイヌ文化、近代の徳島、戦国期の山城、高地蔵などをテーマとした発表があり、それらに対する審査委員からの質疑と的確な講評は、今後の研究活動の糧になることでしょう。

今回は90名という多くの方々にご参加いただきました。このような経験と実績を踏まえながら、今後もさらに中高生への支援を続けていきます。



高校生の発表の様子

鳥居龍蔵生誕150周年記念 全国高校生歴史文化フォーラム 2020

2020年度は鳥居龍蔵の生誕150周年にあたります。この節目の年を記念し「フィールドに歴史を問え!十代の挑戦」をテーマに、3月6日(土)にシビックセンターさくらホールにおいて、「全国高校生歴史文化フォーラム2020」を開催しました。これは、全国の高校生から

歴史・文化に関する自主的な研究を募集し、一次審査(応募総数19組)で優秀賞を受賞した3組の県外応募者と、徳島歴史文化フォーラムの上位2組の計5組による研究発表会です。

県外応募者は3組ともオンラインでの参加となりましたが、5組とも熱心な研究に基づく意欲的な発表でした。テーマは、先史・近世・近代などバラエティに富み、いずれもそれぞれの地域の歴史と関連づけながら解明しようとするものでした。全国の高校生による発表と、審査委員からの質疑や助言は、良い刺激になったことでしょう。

全国規模の歴史文化フォーラムは初めての開催でしたが、高校生が互いに切磋琢磨する場となるよう、来年度以降も開催し、未来を切り拓く人材の育成に努めていきたいと考えています。

鳥居龍蔵生誕150周年記念

国際シンポジウム鳥居龍蔵と現代社会

—その学問と資料の意義を問う—

去る3月21日(日)、文化の森イベントホールで開催しました。鳥居が生涯を通して実践した学問と残された資料を取り上げ、現代社会における意義について考えるもので、日本だけでなく、スペインや台湾などで活躍する研究者が参加し、国際的な視点から、鳥居の再評価を図りました。

海外の研究者はオンライン参加でしたが、それぞれの分野から大変興味深いご提言をいただきました。パネルディスカッションにおいては、鳥居の学問や資料の現代的価値に加え、将来に向けた資料の具体的な活用の方や、他館との交流について意見が交わされました。また、全国高校生フォーラム出場者(小松島高校小松島歴史クラブ)による提言「鳥居龍蔵に学び、未来を拓く」もありました。会場には100名ほどの参加者があり、関心の高さがうかがえました。

このシンポジウムは、150周年行事の締めくくりとして大変有意義なものとなりました。今後も海外との交流を深めるなど、新たな活動を積極的に取り組んでいきたいと思えます。



パネルディスカッションの様子

〒 770-8070 徳島市八万町向寺山 文化の森総合公園

☎ 088-668-2544 (徳島県立鳥居龍蔵記念博物館)

情報コーナー

徳島県立阿波十郎兵衛屋敷

～阿波人形浄瑠璃芝居のご案内～

☆徳島の伝統芸能である阿波人形浄瑠璃芝居「傾城阿波の鳴門 順礼歌の段」

○毎日11時、14時の2回上演(約35分間)
平日の音源はCD。土、日、祝日は、太夫・三味線がつきます。
※変更になる場合がありますのでお問合せください。

☆「4月3日は遊山の日」

○日時：4月3日(土) 9:30～16:00
○入場料：大人410円、高・大学生310円、
小・中学生200円

○会場：徳島県立阿波十郎兵衛屋敷

※和菓子(日の出楼)や遊山箱の販売もあります。

①人形浄瑠璃公演(第一部10時～11時40分/
第二部13時～14時40分)

- 内容：
 - ・映像「遊山箱と阿波人形浄瑠璃」
 - ・創作人形劇「遊山箱をさげて」
人形/徳米座、鳴門座
監修/J.Martin Holman
原作/絵本「遊山箱をさげて」(やまさきじゅんよ著)
 - ・定期公演「傾城阿波の鳴門 順礼歌の段」
太夫/大橋后代(第一部)、長野紫寿(第二部)、
三味線/竹本友和嘉、人形/鳴門座

☆「4月3日は遊山の日」遊山箱未来プロジェクト展

○日時：4月3日(土)・4日(日) 9時30分～16時
○入場料：大人410円、高・大学生310円、
小・中学生200円

○会場：徳島県立阿波十郎兵衛屋敷

☆十郎兵衛屋敷文化講座一人形浄瑠璃とともに楽しむ日本の伝統

「和の空間でいけばな」

○講師：草月流 新田陸嘉
○日時：4月18日(日)、5月23日(日)、
6月20日(日) 各日13時～
○料金：1,000円(入館料含む)+材料費(お花代)
○場所・お申込み先：徳島県立阿波十郎兵衛屋敷
(TEL:088-665-2202)

☆特別展&公演「でこでこでこ」

木偶展「でこでこでこ」

○期間：4月25日(日)～5月7日(金)
各日9時30分～17時 ※最終日は16時まで

ゴールデンウィーク特別公演

○日時：5月1日(木)～7日(金)
各日11時～、14時～
○料金：大人410円、高・大学生310円、
小・中学生200円

○場所：徳島県立阿波十郎兵衛屋敷

一期一会 第三章

○作庭：紡(tumugi)代表/尾形 優
○日時：5月15日(土)～16日(日)
両日9時30分～17時
○料金：大人410円、高・大学生310円、
小・中学生200円

○場所：徳島県立阿波十郎兵衛屋敷母屋

水石展

○日時：6月11日(金)～13日(日)
○料金：大人410円、高・大学生310円、
小・中学生200円
○場所：徳島県立阿波十郎兵衛屋敷母屋
〒771-0114 徳島市川内町宮島本浦184

☎088-665-2202(徳島県立阿波十郎兵衛屋敷)

川口ダム自然エネルギーミュージアム

～川口エネ・ミュージアのイベント紹介～

ゴールデンウィークのイベントです!

☆サイエンスショー「飛ばせ! ペットボトルロケット」

○開催日：5月1日(土)～5日(水・祝)
○時間：15時～15時30分 ※荒天時中止
○場所：第2駐車場
○参加費：無料
○定員：各日10組(1組5名以内)
○申込：4月24日(土)日までに電話申込
(申込多数の場合は抽選)

☆工作教室「段ボールの小物入れ」

○開催日：5月1日(土)～5日(水・祝)
○時間：①11時～11時30分 ②14時～14時30分
○場所：相生ふるさと交流館
○材料費：200円
○定員：各回5組(1組5名以内)
○申込：4月24日(土)日までに電話申込
(申込多数の場合は抽選)

※7月には、5周年記念として記念イベントや新展示を予定しております。詳細は決まり次第ホームページ(<https://kre-museum.jp/>)でご案内します。

〒771-5411 那賀郡那賀町吉野字イヤ谷72-1

☎0884-62-2209(川口ダム自然エネルギーミュージアム)

情報コーナー

海陽町立博物館

～進化した博物館に来てくださいね～

この度、当館に新しいプロジェクターと、VRの視聴ができるヘッドマウントディスプレイ(オキュラスクエスト2)が導入されますので紹介いたします。

館内の「町民ギャラリー」に新しく設置されたのはプロジェクターです。一般的なプロジェクターとは異なり、光がとても強いので明るいところでもしっかり映像が映り、映像のサイズが非常に大きく迫力があります。これは、DMV走行等に合わせて実施予定であるコスプレ体験の背景を投影するもので、普段は海陽町内で撮影された景色が動画で流れる予定です。

次に、まるで異世界に入ったかのような没入感が魅力であるVRの体験ができるようになります。360度海陽町の魅力ある風景を見渡すことができる、新感覚の体験です。大きな魅力は普段は行くことが難しい絶景や、シーズンが限られている風景をいつでも疑似体験ができることです。

プロジェクターとVRで視聴できる動画にもこだわりがあります。だるま朝日や轟の滝(本滝)に虹がかかっているところ、透明度の高い海中で見るエダミドリイシやムカシサンゴなど気候の条件などが合わさらないとなかなか見られない景色や海中・空中、普段は目にすることのないものばかりです。それ以外にも、知っているようで知らない海陽町の魅力をたっぷり詰め込んだ動画となっています。

感染症対策を十分に行った上で、皆様楽しんでいただける博物館へ進化していきますので、ぜひお気軽にお越しください。

※コロナにより実施内容に遅れが出るおそれもあります。



新プロジェクター



ヘッドマウントディスプレイ

〒775-0202 海部郡海陽町四方原字杉谷73

☎0884-73-4080(海陽町立博物館)

大鳴門橋架橋記念館

～エディで渦潮発生の不思議がわかる!!～

☆4月は春の大潮の季節

一年の中でも一番大きく渦潮が見られる季節の到来です。渦潮の見頃は、渦の道・エディのHPで検索を!!
<https://www.uzunomichi.jp>

春の大潮は直径20mもの大きな渦潮が見られるチャンスです。どうして渦潮が発生するのか?その答えがわかるのが「大鳴門橋架橋記念館エディ」です。渦潮の不思議について、ぜひ楽しみながら学んでみてくださいね。

【感染症対策もOK!安心な施設】

入口には自動検温サーマルカメラの設置、館内各所に手指消毒も設置しています。定期的な換気や消毒作業も行っており、安心してゆったりとお楽しみいただけます。ぜひ、安心な施設で快適な時間をお過ごしください!

〒772-0053 鳴門市鳴門町鳴門公園内

☎088-687-1330(大鳴門橋架橋記念館)

阿波木偶人形会館

阿波木偶人形会館は、人形浄瑠璃の総合展示場で、初代人形健(人形制作者)・二代目人形健・弟子が手掛けた木偶人形を数多く常設展示し、人形浄瑠璃芝居の名場面のセットや明治期の古代衣装の再生、木偶の歴史関係など、随時新作の入れ替えも行ってあります。また、お越し頂いたお客様に頭の制作過程、カラクリの仕組みなどを手にさわって頂いてわかりやすく解説しています。世界最大の人形頭も展示。また、ビデオ(テレビ)にて人形浄瑠璃芝居も放映致しております。

是非一度ご来館をお待ち致しております。



〒771-0114 徳島市川内町宮島本浦226-1

☎088-665-5600(阿波木偶人形会館)